

令和元年度

財政援助団体等監査報告書

富津市監査委員

目 次

第1 監査の概要

1 監査の種類	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 監査の対象	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3 監査の方法	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
4 監査の期間	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
5 監査の場所	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
6 監査執行者	・・・・・・・・・・・・・・・・	1

第2 監査の結果

1 事務事業の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3 役員及び組織	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4 財政援助等の受入状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
5 収支決算の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
6 監査の結果について	・・・・・・・・・・・・・・・・	4

第1 監査の概要

1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等監査(出資団体監査及び公の施設の指定管理者監査)

2 監査の対象

[対象団体] 公益財団法人 富津市施設利用振興公社
(富津市施設利用振興公社・ミズノ共同体)

[所管部局] 建設経済部 都市政策課
教育部 生涯学習課

3 監査の方法

財政的援助等に係る出納その他の事務の執行が、当該財政援助等の目的にそって適正かつ効率的に行われているか、会計経理等が適切に行われているかを主眼とし監査を行った。

監査は、提出された監査資料及び証拠書類の照合、現地調査により諸帳簿を点検、照合に併せて、対象団体及び所管部局からの説明を聴取するとともに、過去に実施した監査結果等を踏まえこれを行った。

4 監査の期間

令和元年9月13日から同年11月26日まで(事前監査等の期間を含む。)

5 監査の場所

市民ふれあい公園管理事務所 会議室

6 監査執行者

富津市監査委員 磯貝昭一

※ 福原監査委員は、監査対象団体の理事の職を務めていることから、地方自治法第199条の2の規定により、監査執行上の除斥とした。

第2 監査の結果

公益財団法人 富津市施設利用振興公社

1 事務事業の概要

公益財団法人富津市施設利用振興公社は、住民のスポーツの振興に関する各種の事業を行うとともに、公園緑地等及びスポーツ・レクリエーション施設並びにその他の施設の管理運営を行い、もって住民福祉の増進と良好な生活環境づくりに寄与することを目的とする団体である。

2 事業（定款第2条抜粋）

- (1) 地域住民のスポーツの振興に関する事業
- (2) 緑化の推進に関する事業
- (3) 富津市その他の公共団体の設置した公共施設の管理受託
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

3 役員及び組織（令和元年9月30日現在）

- (1) 役員 5名
 理事長 1名
 理事 3名
 監事 1名
- (2) 評議員 9名
- (3) 事務局 18名（常勤職員7名、臨時職員11名）

4 財政援助等の受入状況（平成30年度決算）

- | | |
|---------------------------|---------------|
| (1) 富津市都市公園及び富津市立公園管理事業収入 | 146,726,916 円 |
| (2) 富津市体育施設管理事業収入 | 30,589,199 円 |
| (3) 売津パーク等管理事業収入 | 300,000 円 |
| (4) 青木地区公園予定地管理事業収入 | 175,000 円 |

5 収支決算の状況（平成30年度決算）

公益財団法人富津市施設利用振興公社から提出された、平成30年度決算書について、その概要は次のとおりである。

平成30年度 正味財産増減計算書

（単位：円）

勘定科目	予算額	決算額	差異
一般正味財産増減の部			
経常増減の部（当期経常増減額）	128,000	1,205,764	-
経常収益	197,651,000	195,939,802	△ 1,711,198
基本財産運用益	4,000	4,000	0
事業収益	197,644,000	195,931,695	△ 1,712,305
受取負担金等収益	0	0	0
雑収益	3,000	4,107	1,107
経常費用	197,523,000	194,734,038	△ 2,788,962
事業費	196,172,000	193,569,188	△ 2,602,812
管理費	1,351,000	1,164,850	△ 186,150
経常外収益の部（当期経常外増減額）	0	0	-
経常外収益	0	0	0
経常外費用	0	0	0
法人税等支出	0	0	0
当期一般正味財産増減額	128,000	1,205,764	-
一般正味財産期首残高	2,667,000	3,149,756	-
一般正味財産期末残高	2,795,000	4,355,520	-

経常収益の主なものは、事業収益で、富津市からの指定管理料である富津市都市公園及び富津市立公園管理事業収入1億4,672万6,916円（事業収益の74.88%）、富津市体育施設管理事業収入3,058万9,199円（事業収益の15.61%）である。

経常費用の主なものは、事業費で、職員、非常勤職員等の人件費等6,563万1,796円（事業費の33.91%）、光熱水費2,275万2,991円（事業費の11.75%）、委託費8,258万4,871円（事業費の42.66%）である。

平成30年度 貸借対照表

(単位：円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	27,058,182	流動負債	22,732,662
現金預金	27,011,288	預り金	885,334
未収金	46,894	未払金	21,847,328
固定資産	40,030,000	固定負債	0
基本財産	40,000,000		
その他の固定資産	30,000	負債合計	22,732,662
		(純資産の部)	
		指定正味財産	40,000,000
		一般正味財産	4,355,520
		純資産合計	44,355,520
資産合計	67,088,182	負債・純資産合計	67,088,182

6 監査の結果について

公益財団法人富津市施設利用振興公社（以下「公社」という。）は、地域住民のスポーツ振興及び緑化の推進に関する事業のほか、公共施設の管理受託を行うことを目的として平成元年に設立されている。

富津市は、公社に対して設立時に基本財産 4,000 万円を全額出資している。

公社は、平成元年度に設立（平成 25 年 4 月に財団法人から公益財団法人に移行）して以来、30 年間にわたり公共施設の維持管理及び運営を実施し、市のまちづくり、市民の健康増進活動に寄与している。

また、公社は、令和元年度からの富津市の公の施設の指定管理について、各施設の利用率の向上を図るべく、スポーツ施設の管理運営事業において経験豊富なミズノスポーツサービス株式会社と共同体を組み、公益財団法人としての公益性、継続性と、民間企業としてのネットワーク、経験、ノウハウ等を融合した施設の管理運営体制を整備されたところである。

今後も、施設の適切な管理運営に努めるとともに、ミズノスポーツサービス株式会社の経験やノウハウを活用した、施設サービスの拡充、スポーツ振興の積極的な推進を図り、更なる住民福祉の増進に期待するものである。

監査の結果、公の施設の指定管理に係る出納その他の事務は、おおむね適正に処理されているものと認められたが、次に示す点について一部改善等を要する事項が見受けられたので、以下のとおり意見を付するものである。

<改善等を要する事項>

固定資産台帳及び物品台帳の整備について

富津市都市公園及び富津市立公園指定管理者業務仕様書、富津市体育施設の指定管理者業務仕様書において、指定管理者は、市の所有に属する物品について、富津市財務規則ほか関係例規に基づき管理を行い、備品台帳を整備する事とされている。

また、公益財団法人富津市施設利用振興公社会計規程（以下「規程」という。）において、公社は、規程第 28 条の固定資産もしくは規定第 31 条第 2 号の消耗器具備品が存する場合には、固定資産台帳もしくは物品台帳を整備し、適正に管理する事とされている。

現在の台帳の整備状況を確認したところ、備品台帳、固定資産台帳及び物品台帳として区別がされておらず、一覧表の種別に位置づけられるものであった。

以上のことから、市の所有に属する物品については、富津市の台帳整備基準（富津市財務規則）に基づき備品台帳を整備し、適正な管理を図るとともに、法人所有の固定資産及び消耗器具備品については、法人会計規程に基づき必要な台帳を整備し、適正な管理を図られたい。